

職員による自己評価

A 環境面

- ・ご利用者様の成長に伴い、階段を安全に登る事が難しくなってきたと感じる。
- ・安全面に配慮して活動できる様、スタッフ一同気を付けているが、スペースが狭いと感じる事がある。

B 児童への支援内容

- ・活動が固定化されない様、季節に応じた活動、子ども達が興味のある活動を取り入れる様にしている。
- ・利用者様によって、好きな事は異なるが、買い物支援や電車での外出等、様々なプログラムを経験できる様にしている。

C 関係機関との連携

- ・年2回保護者様と面談を行い、近況聞きながら、一緒に目標を考えている。
- ・学校とも連携を図り、必要に応じてカンファレンスを行う事で、統一した支援ができる様にしている。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・日々の連絡帳だけでなく、必要に応じて、送迎時や電話にて個別に連絡を取り、気になる事はすぐに共有できる様、対応している。
- ・保護者参加型のイベントを企画し、日頃からスタッフと保護者の方が、話しやすい関係を作っている。

E 非常対応

- ・月1回、災害や不審者対応の避難訓練を行っている。
- ・マニュアルはあるが、様々な状況が考えられる為、定期的に見直しが必要だと考えられる。

保護者による評価

A 環境面

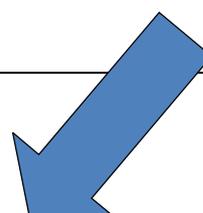
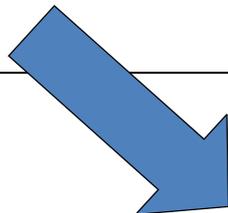
- ・今現在の人数に合っているか、どんな専門性のある職員が分かるお知らせがあると良い。
- ・場所が限られているので難しいと思うが、部屋がもう少し広いと遊びやすい。

B 児童への支援内容

- ・学校、家庭で課題として練習している事をすぐに取り入れてくれて、その結果、定着しつつある。
- ・子供の興味のある事や遊びを入れつつ、苦手とする作業や運動を行っている。
- ・行事に向けての物作りも毎回違って、スタッフの方々のアイデアがすごい。
- ・明るい雰囲気は良いと思う。
- ・どのスタッフも愛情を持って接してくれているのが、子どもからの言葉や表情でよく分かる。
- ・子どもの興味のある事についても、スタッフの方がその興味について情報を得てくれて、楽しくコミュニケーションが図れるよう、配慮してくれる。

C 事業所からの情報発信

- ・毎回、封筒に入れていただき、ありがたい。

D 非常対応

事業所内での分析

【共通点】

- ・もう少し安心安全に過ごせるスペースがあると良い。
- ・興味のある事を取り入れながら活動する事で、子ども達が楽しく過ごせる場になっている。
- ・家庭、学校と連携し、統一した支援を行う事で、生活の中で身につけている事がある。

【相違点】

- ・災害時のマニュアルはあるが、保護者の方に定着しているか分からない為、適宜見直して、再度お知らせする必要があると感じる。

分析・検討してみた...

事業所の強み

- ・日頃から、スタッフ間でコミュニケーションを取りやすい環境がある事から、意見を出し合い、様々な活動のアイデアを出す事ができる。
- ・子ども達一人ひとりに向き合い、好きな事を取り入れた活動を提供することができる。
- ・保護者の方や学校と、連携を取りやすい環境作りができています。

事業所の改善点

- ・移転も含め、子ども達が安心安全に過ごせる場となる様、環境作りの見直しが必要。
- ・外出や買い物等、子ども達が楽しめる活動を考え、自立に向けての支援に繋がられる様、どのスタッフも対応できる様にしていく。

～事業所の改善への取り組み～

現在、建物の老朽化進んでいる事から、移転を検討している。今後、さらに子ども達が活動しやすいスペースが確保できる様、環境整備を行っていく。スタッフの教育も含め、子ども達により良い支援ができる様、月1回のミーティングは、継続して行っていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

子ども達との関わりの中で、好きな事や興味のある物を取り入れる事で、良い支援につながっている事が、保護者からの声で分かって良かった。引き続き、無理強いではなく、好きな事から徐々に様々な事に挑戦できる様、子ども達との関わりを大切にしていきたい。安全面に関しては、スタッフ、保護者共に感じている事が共通している為、改善していかななくてはいけないと強く感じている。今後も、子ども達だけでなく、保護者の方にも寄り添いながら、安心して預けられる場所になれる様、スタッフ一同努力していきたい。

事業所名 コパン万騎が原

担当者 田尻 果奈